

Leaders
in Trusted
Technologies

NISSHA

個人投資家向け 会社説明会

2026年4月2日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者

鈴木 順也

部品・資材の加工メーカー

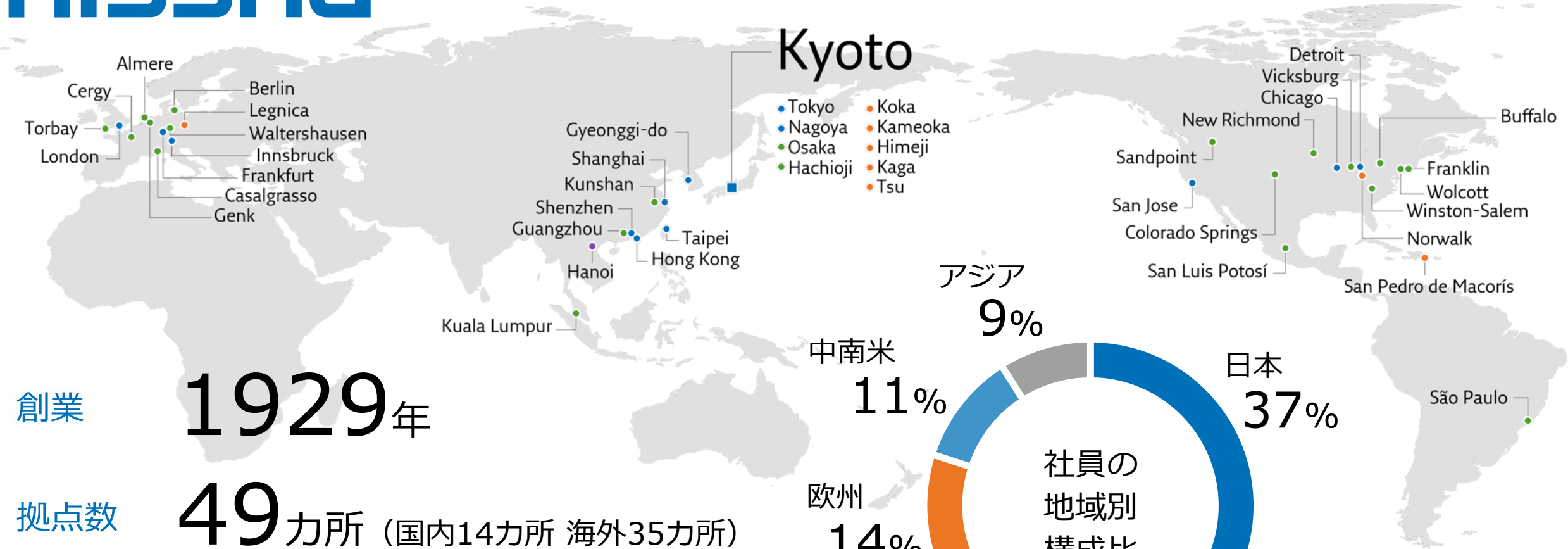
B2B

世界のトップ企業に供給

Mission

私たちは世界に広がる多様な人材能力と情熱を結集し、
継続的な技術の創出と経済・社会価値への展開を通じて、
人々の豊かな生活を実現します。





創業

1929年

拠点数

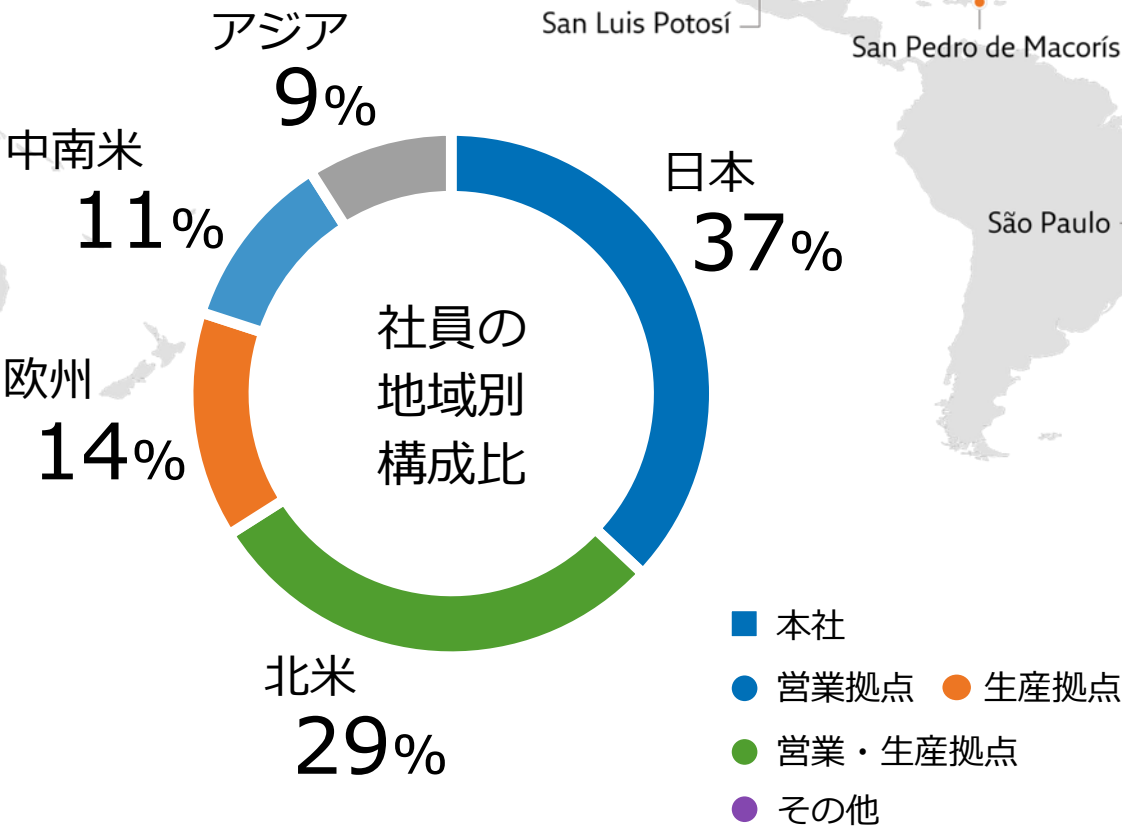
49カ所（国内14カ所 海外35カ所）

社員数

5,305人（連結）※2025年12月末現在

上場市場

東証プライム（証券コード7915）



3事業をグローバルに展開

医薬品の開発製造受託（CDMO）を強化

医薬品の開発製造受託



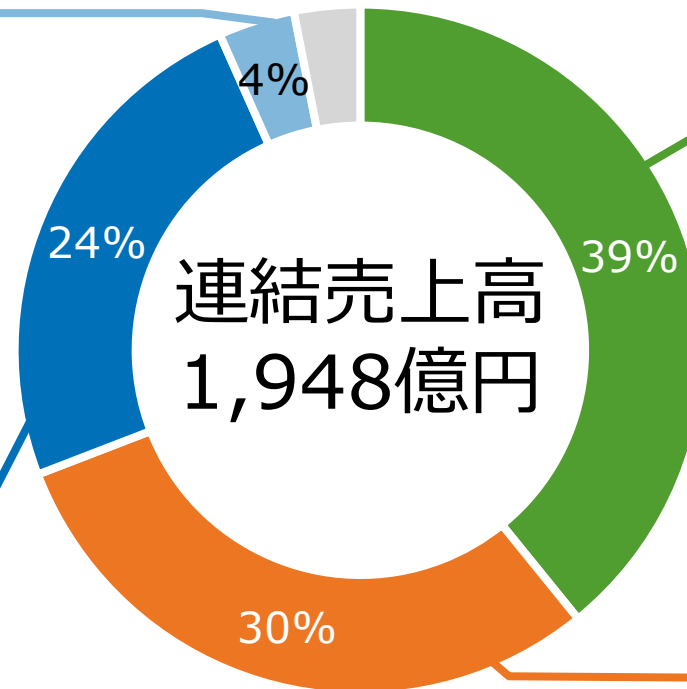
医療
テクノロジー事業



産業資材事業



デバイス事業



CDMO : Contract Design/Development and Manufacturing Organization

産業資材事業

SurfaceWorks

さまざまな素材の表面に
デザイン・形状・機能などの付加価値を提供

加飾フィルム・成形品

多様な市場（モビリティ、家電など）で
グローバルトップメーカーから信頼

欧州・米州・アジアでグローバルに供給（24拠点）
デザイン・形状・機能の提案力



内装加飾に加えて、外装機能部品が成長

内装加飾（既存）



外装機能部品



フロント部（グリル・ライトなど）



リア部（ライトなど）

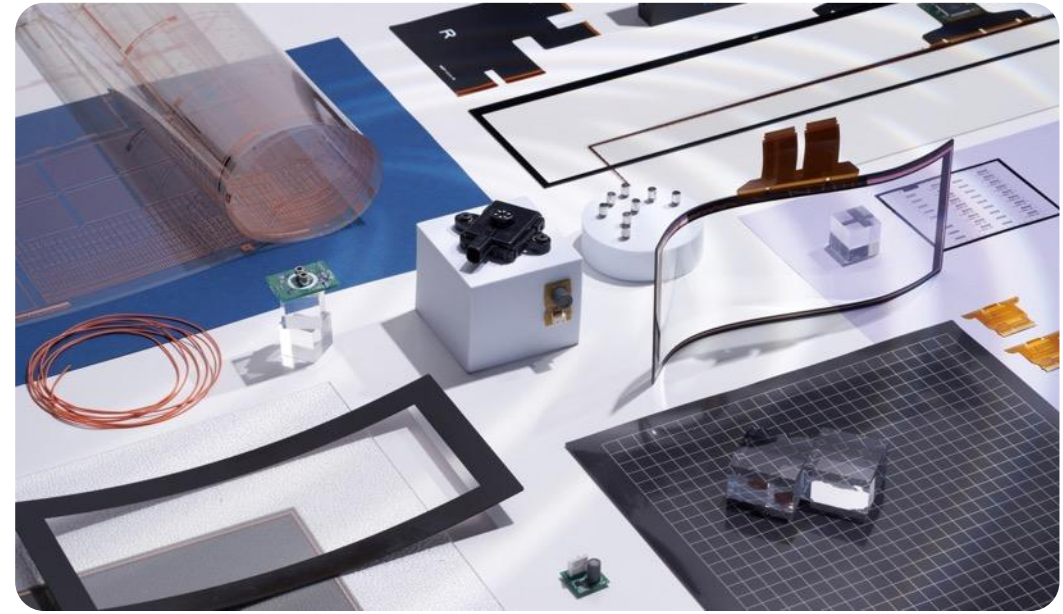
デバイス事業

SenseEvolve

人々の豊かな生活に貢献する
高品質なセンサーを提供

フィルムタッチセンサー

タブレット、業務用端末（物流関連）、ゲーム機の
分野でグローバルトップメーカーに提供
高精細、高品質な製品を安定供給



メディカルテクノロジー事業



医療機器の最大市場である北米を中心に
高品質で付加価値の高い医療機器を提供

開発製造受託（CDMO）

アメリカの医療機器グローバルトップメーカーから
設計・開発～製造まで一貫して受託
優れた設計・開発力によるユーザビリティ向上



高度化する医療機器のニーズに対応

- 精密・超小型の成形技術

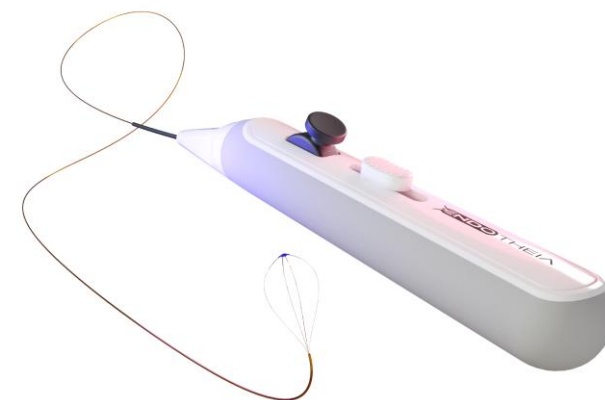


内視鏡先端ガイド部品



手術支援ロボット
ガイド部品

- 手術機器の操作性向上



腎臓結石除去バスケット

医薬品の開発製造受託（CDMO）

錠剤などの一般剤形からフィルム状の特殊剤形まで独自の処方設計・加工技術により、さまざまな医薬品を提供

一般用医薬品

風邪薬や解熱鎮痛剤の開発製造受託を展開

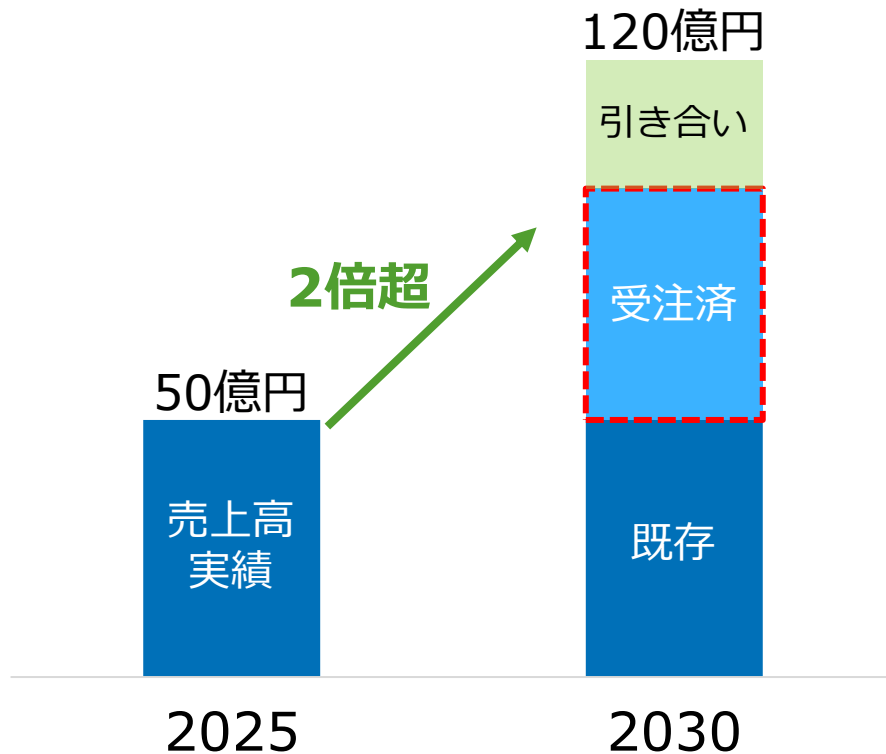
医療用医薬品

病院で処方される医薬品や、医薬部外品などの自社製品も製造・販売



一般用医薬品CDMOの旺盛な需要に対応

- 受注済案件が拡大
- 生産能力拡大の増産投資を決定
 - 1工場から2工場体制へ



甲賀工場（滋賀県）



津工場（三重県）
生産能力を拡大



コア技術を生かして価値ある製品（部品・資材）を提供

多様な市場に
価値ある製品を提供

対象市場

製品



メディカル

医療機器
医薬品



モビリティ

加飾・機能部品
(内装・外装)



サステナブル資材

蒸着紙・
サステナブル
成形品



IT機器

フィルムタッチ
センサー

マーケティング(お客さま志向)

お客さま
ニーズ

設計

開発

生産

付加価値の創出

生産性・
効率性の追求

ケイパビリティ(技術・人材)

NISSHAのコア技術



印刷



コーティング



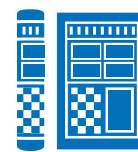
成形



ラミネー
ション



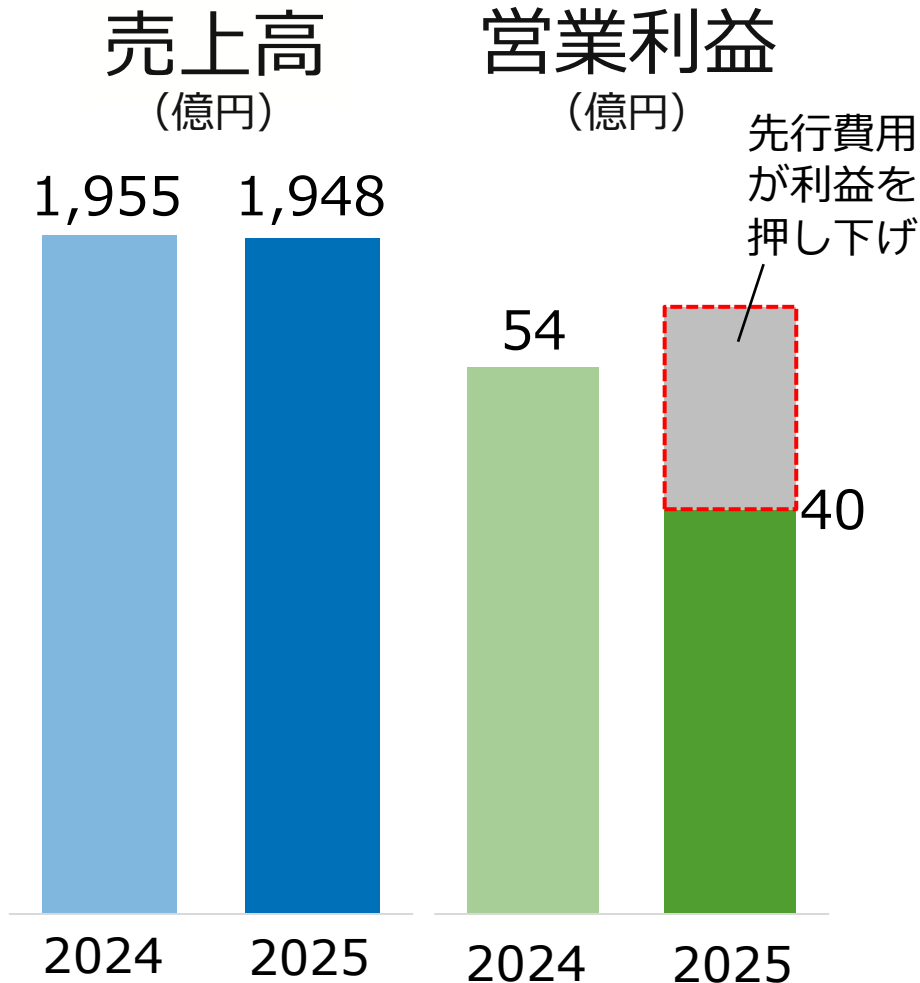
金属加工



パターン
ニング

2025年の業績

成長に向けた取り組みが進展、先行開発費用が増加



成長に向けた取り組み

● 自動車の外装機能部品の立ち上げ

ヘッドライト



リアライト



● 一般用医薬品CDMOの増産投資を決定

甲賀工場



津工場



2026年の業績計画

営業利益66億円（前期比66%増）、各事業で増益

産業資材

外装機能部品のプロジェクト数増加



メディカルテクノロジー

需要堅調、新製品が寄与

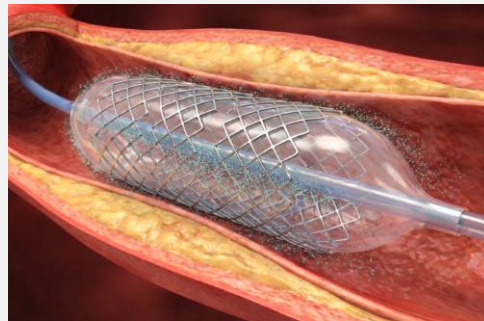


デバイス

生産性改善



医療機器向け
機能部品を提供



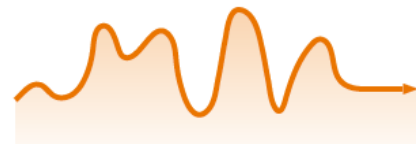
医薬品

一般用医薬品CDMOの需要が旺盛



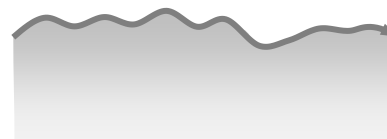
事業ポートフォリオの強化：分散に規律を効かせる

2010年代
IT機器一本足



環境変化が激しい

2020年代（～現在）
選択と分散により
事業ポートフォリオを構築



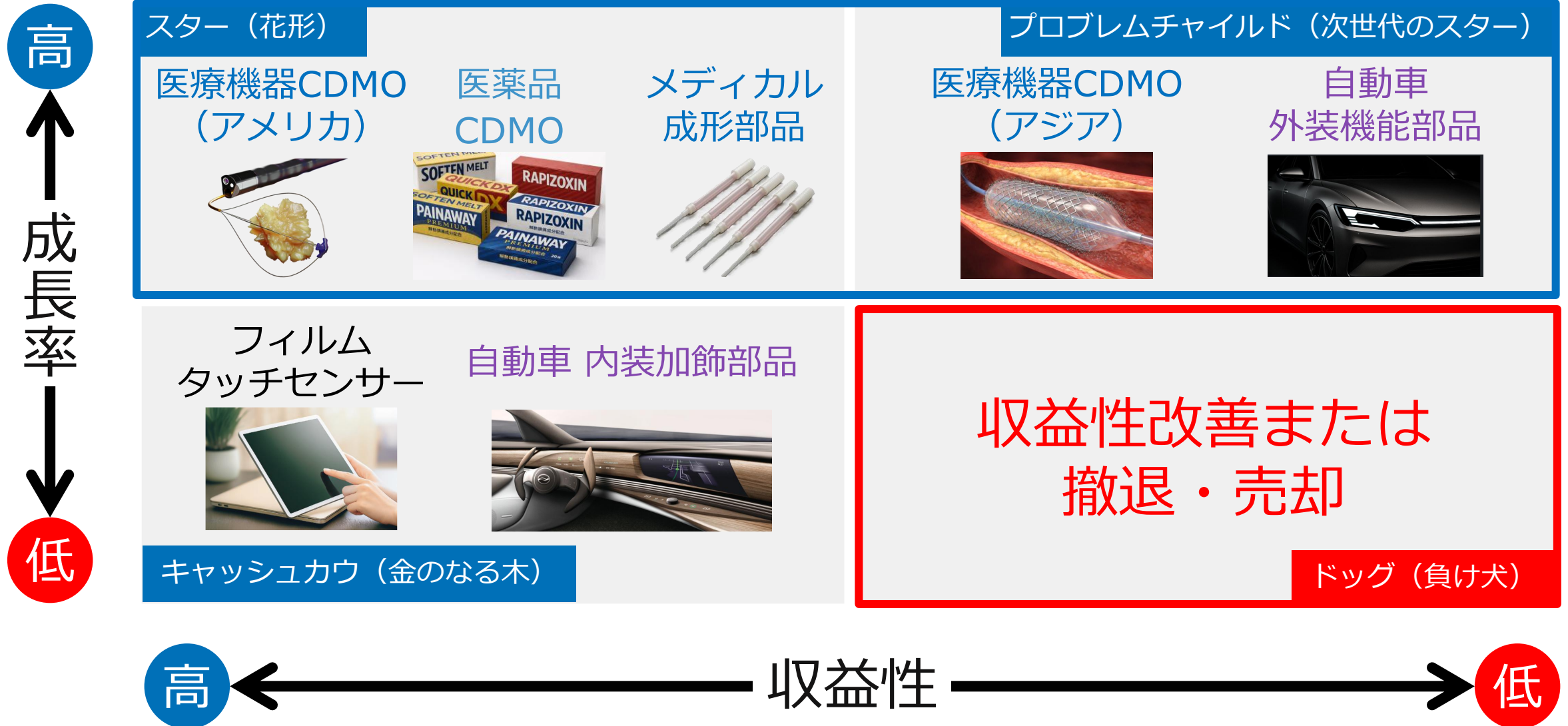
選択的な分散により需要変動を抑制するも
事業により優劣が顕在化

2030年へ
選択と規律ある分散



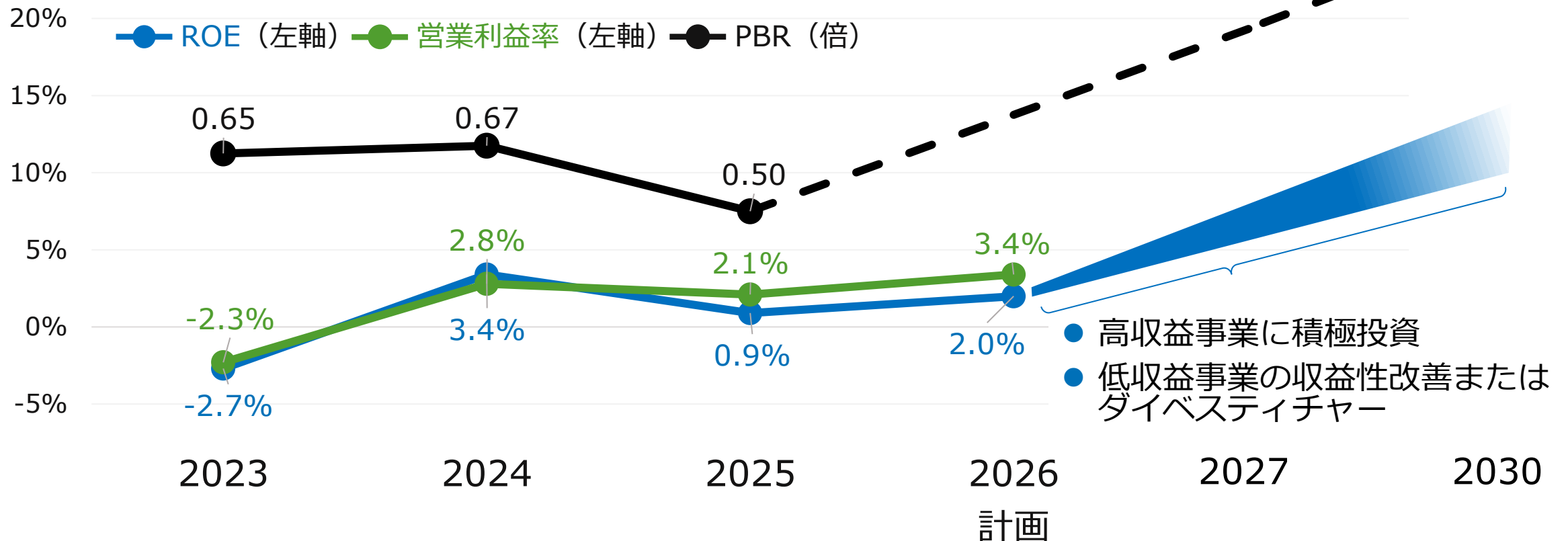
安定した成長が期待できる

選択と規律ある分散を徹底、規模拡大より収益性を優先



営業利益率の改善により当社評価を向上させる

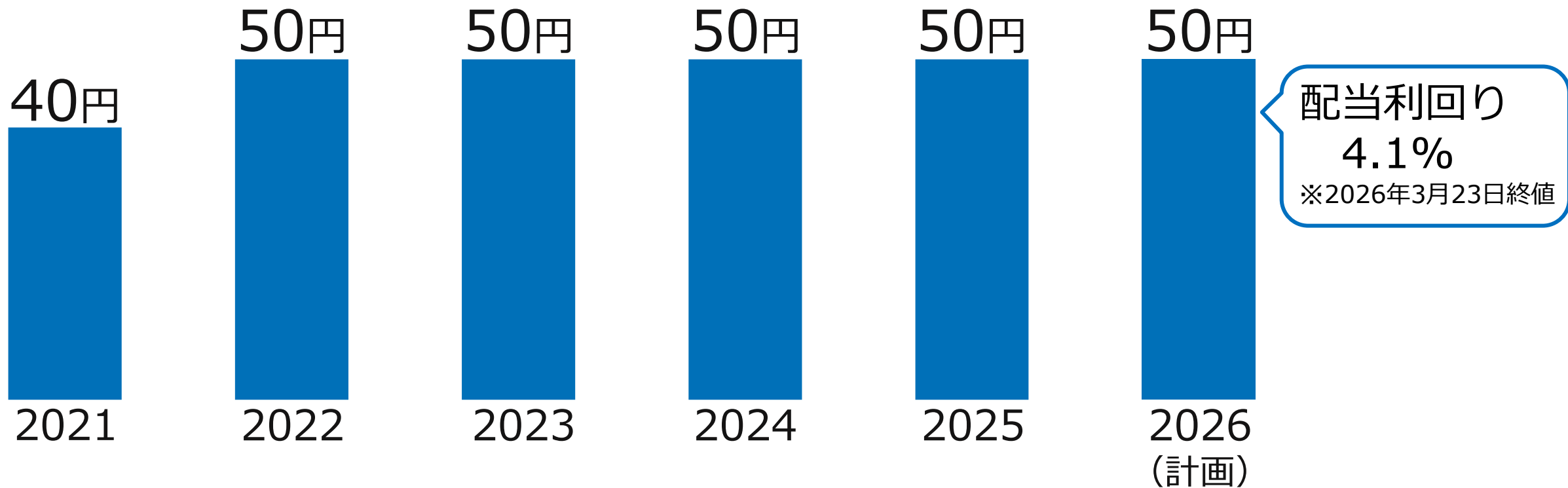
- ROEが低位で推移、株主資本コスト（6-8%※）を下回る
- ROEは営業利益率に連動
- 選択と規律ある分散を通して営業利益率を改善



配当について

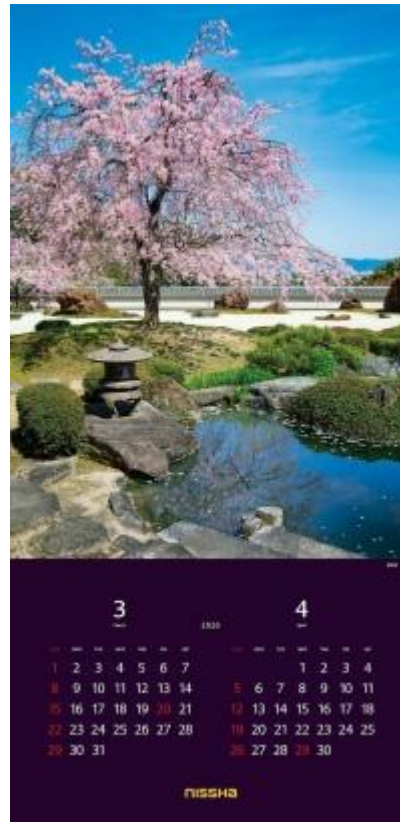
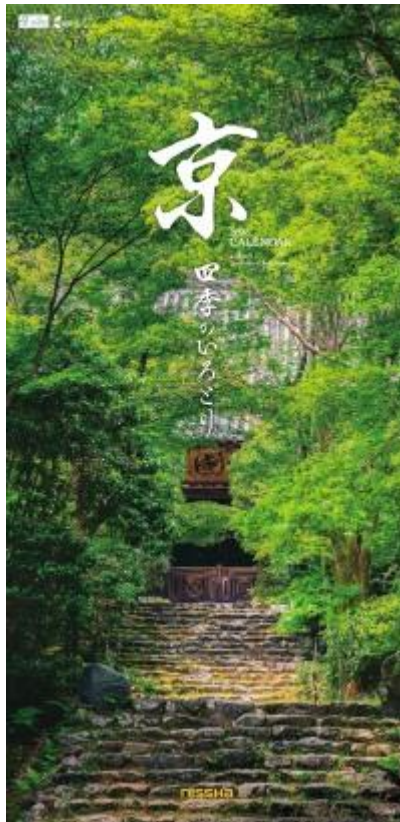
安定的な株主還元（配当額）を継続

■ 年間配当金



株主優待

「京・四季のいろいろカレンダー」 50年以上続く伝統ある企業カレンダー



Leaders
in Trusted
Technologies

ご清聴ありがとうございました

Leaders in Trusted Technologies

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。